

2020年度 第2回CSR委員会 議事録

日 時 2020年6月25日(木) 13:30~17:00
 会 場 Web会議
 出席者 19名(欠席 : 南東北 沓澤さん)

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
東京	廣瀬 城児	南関東	丹沢 悟	東中国	山田 眞理
北海道	池田 壮	東京	三浦 起世光	西中国	青木 道男
北東北	小笠原 裕司	東海	伊藤 準	四国	平岡 佳展
南東北	沓澤 六雄	北陸	宮下 正	九州北	三浦 文義
上信越	桐島 航平	近畿	松田 時典	九州南	高橋 浩志
東関東	岩崎 栄	阪神	西川 秀俊		

<担当副会長> 横山 健一郎 <事務局> 専務理事:野元 敏昭、特命部長:大谷 隆(記)

: 委員長、

<委員会での決定事項>

- ・防災・減災の取組みにつきBCPを含めて代理店として何ができるかをしっかり考え、次回委員会で共有する。
- ・各ブロックの活動状況を把握する。

議 事

1. 挨拶

1. 金子会長挨拶

- ・日頃は代協活動にご尽力いただきありがとうございます。心から感謝いたします。
- ・また、世界中パンデミックの中で今まで経験したことのないリモートや在宅勤務を体験していますが、「災い転じて福となす」といいますが私たちの生活・仕事が大きく変わろうとしており、これからの保険募集も大きく変わるのではないかと思います。
- ・今日お集りの皆さま、従業員並びに家族の方々の健康を最優先して日本代協の様々な行事をこのような形にさせていただきました。
- ・先が見えない中、気合では防げない相手であるので日本代協としては終息するまで慎重に対応したいと思います。
- ・若干事業活動が遅れていますが、各委員会、理事会、正副ともに徐々に巻き返していきたいと思うので現状の理解と今後の協力をお願いいたします。
- ・6/16 新理事意見交換会を行い今年度も各委員会に対し諮問事項を委員長に公表させていただきました。
- ・CSR委員会においては、幅広く社会貢献活動に寄与することなので4つの事項を諮問しています。
- ・一つ目は、防災・減災の具体的取組みの検討と推進です。
- ・二つ目は、ぼうさい探検隊の積極推進です。
- ・三つ目は、自然災害だけでなく、今回のようなパンデミックを含めたBCPの推進です。
- ・四つ目は、東京オリンピックは延期になってますが、サイバーセキュリティの推進です。

- ・厳しい状況の中、特にぼうさい探検隊についてはマップ作成は遅れるかと思いますが、去年は防犯の方にも重きを置いてきており、今年についてはコロナ対策のぼうさい探検隊も出てくるのではないかと思います。
- ・学校も授業活動、教育活動が遅れ気味の中、教育委員会も大変かと思いますが地域の担い手として、ぼうさい探検隊の積極推進をお願いします。
- ・最後になりますが皆さまが健康で日本代協の事業活動に推進して頂けるといいますので、大変な時代ですが明るく元気にしっかりと本気で推進したいと思います。
- ・廣瀬委員長とは新宿支部時代からの付き合いであり委員長中心に CSR を推進していただけると信じてます。

2. 廣瀬委員長挨拶

- ・午前中はじめて委員会に参加される方と時間を過ごしたが、皆さん地元で活動しているベテランの方ばかりでホッとします。
- ・コロナ禍で様々な苦勞をされてるかと思ひますし、本日千葉で震度 5 弱の地震があったり、九州の大雨での避難所生活もコロナ対策で心配される状況です。
- ・現在は、企業の CSR 活動も重要な位置づけとなつてますので、CSR 委員会では、このような中ではありますが、しっかり取組んでいきたいと思ひます。
- ・具体的には、諮問事項に沿ってお話いたします。
- ・委員会の進め方については、情報共有して各地域・ブロック毎に見える化していきたいと思つてます。
- ・前期から引き続きの方は、経験を活かしていただき、委員会を引っ張つて新しいアイデアをどんどん出してください。
- ・また、新しい委員の方は、新しい発想で意見を出してください。
- ・基本年 4 回の委員会ですが、direct 等でコミュニケーションをとらさせていただきます。
- ・ぼうさい探検隊の活動ができない状況ですが、出来ない中でも何が出来るのかを皆さまと一緒に知恵を絞っていききたいと思つております。

3. 自己紹介

- ・各自自己紹介を行った。

4. 副委員長指名・司会進行・議事録作成者の指名

- ・廣瀬委員長より三浦(起)委員、山田委員が副委員長に指名され、承認を得た。
- ・司会進行に三浦副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

・報告事項・情報共有

1. 理事会・総会報告

- ・事務局より通常総会に向けた金子会長メッセージ、通常総会、理事会議事録にて説明を行った。

2. 前回委員会の振り返り

- ・前回企画環境委員会の論議内容、決定事項等を議事録で確認した。

3. 2020 年度諮問事項

- ・2020 年度諮問事項について廣瀬委員長より説明があった。

防災・減災の具体的取組みの検討

「ぼうさい探検隊」の積極推進

- ・ BCP の推進(会員の対応と顧客企業へのアドバイス)
- サイバーセキュリティ対策の向上

・審議事項

1. 今年度 CSR 活動の進め方(含むぼうさい探検隊)

- ・ぼうさい探検隊の推進について、例えば東京では6月から授業が始まってはいるのですが、分散登校、夏休みも短縮される中で、どのような方法をとればいいのか、基本は子供たちが安全で防災・防犯に携われるかを主眼に考えたい。
- ・午前中のオリエンテーションでも、少人数で動く・タブレットを活用する等の意見が出ており、地域によっても状況が違うから後ほど現状含めて意見を聞かせていただきたい。
- ・防災・減災の取組みについては、委員会の決まった時間(年4回)の中で、意見を出し合うのも難しいと思うので、まずはブロック単位で各都道府県の委員の方と話し合っていていただき、次回 CSR 委員会で集まった時に小グループでディスカッションして意見をまとめていく方法を考えております。
- ・防災・減災といっても、大規模の際に何ができるのかというのは、あまりにも大きく広い考えなので具体的な災害に絞って考えるのも一つだと思います。
- ・次回の委員会まで皆さまの頭の中で、どのような取組みを代理店としてできるのかを考えておいてください。
- ・サイバーセキュリティについても、各都道府県予定しているのかを後ほど教えて下さい。
- ・BCPについては、今回のコロナ禍においてテレワーク等を余儀なくされるなどいろいろなことが急遽発生しており、今一度各自のBCPを見直すいい機会となり、さらに細かく見直す必要があると思うので皆様の意見を聞かせてください。

2. 各ブロック活動状況

(北海道)

ぼうさい探検隊

- ・昨年は9支部で5マップ提出(過去最高)したが、教育委員会の知り合いに依頼したり、学童保育へチラシ配布等組織を狙ってきたが、なかなか目が出てこず小さい単位(少人数)で勤めてきた。しかし今年度はコロナがが重なり厳しい現状にあるのが現状。
- ・5~6年生中心に声掛けしてたが4年生にも声掛けしたり、会員の家族(子ども・孫)、CSR委員長、支部長に例会のたびに熱く依頼している
- ・本来9支部あるので9マップ提出したい。
- ・大阪や福島の事例をとり、子供たちの小さい頃の記憶は確かであることを強くアピールしていきたい。

サイバー

- ・昨年は4支部でセミナー開催

(北東北)

ぼうさい探検隊

- ・教育委員会等に声掛けを行っている。

出前講座

- ・昨年5校実施しており、今年度も継続して開催する予定。

(上信越)

ぼうさい探検隊

- ・長野では1支部1団体の実施に向けて取り組んでいる。
 - ・損保協会の専用サイトにタブレット活用の動画が掲載されているので、こちらを活用して各支部担当者に話をしていく。
 - ・Jリーグ 松本山雅のジュニアチームに昨年声掛けをしており、今年度は実施を目標に取り組む。
- ほかの項目については、県の会議もできていないので活動できる方法を考えていく。

(東関東)

ぼうさい探検隊

- ・埼玉では各支部で声掛け、実施を目標に行ってきたり今年度も同様に進めていく。
- ・6月より小学校が通常通りとなり、校長と話す機会があったが組織単位で動くのは難しいとの考えだった。

サイバー

- ・昨年に引き続き実施していく。
- 全体として代協としての活動ができていないので、これからになります。

(南関東)

ブロック会議ができていないので情報共有できていない。

ぼうさい探検隊

- ・元々通学路の危険について作成していた学校へ本提案を行い活動している。
- ・ボーイスカウト等にも継続して提案していく。

出前講座

- ・昨年度は専門学校(自動車整備士)で実施。

サイバー

- ・2年前に山梨県警と連携し実施したが、各企業への提案ができていないので、各支部単位で活動予定。

(東京)

ぼうさい探検隊

- ・学校へ訪問する状況ではなく、各団体においても同様で、おそらく今年いっぱい活動が難しいのではと
思っている。
- ・その中でも、基本に立ち返って家族単位で動くことにより身近な子供に意識付けさせてもいいのではと思
い推進していく。
- ・状況が激変した際は、いつでも動き出せるよう昨年案内した団体には案内できるよう準備している。
- ・あくまでも防災意識を子どもたちに根付かせるのが目的として推進していく。

サイバーセキュリティ

- ・東京は警視庁がすごく協力的で代協会員は何回か受講しています。3月には商品編の開催予定でしたが
延期となっておりWEBを活用する等すすめていく。

ぼうさい・減災

- ・代理店の業務の中で何ができるのか、次回委員会まで考えておく。

(東海)

引継ぎが十分できておらず、今年度の活動についてはこれからになる。

ぼうさい探検隊

- ・愛知県としては、PTAの事務局、校長会へ直接提案していく。

BCP

- ・内閣府が出している手引きを活用しBCP策定している。

出前講座

- ・教育委員会でオリジナル動画を作成しており、それを活用して提案している。

(北陸)

第一回のブロック協議会が7月の予定で現状確認できていないが、6月まではほとんど活動ができていないと思われる。学校も6月に再開したばかりなので、これから。

ぼうさい探検隊

・これまで小学生の子どもがいる代理店を中心に依頼してきたので、今年も同様な動きになると思う。

サイバー

・昨年は県警のサイバーセキュリティ本部と連携し各県セミナーを実施。

出前講座

・昨年は11月～5,6校に実施したが今年はまだ未定。

(近畿)

現状会議ができておらず、引継ぎもできていない。

ぼうさい探検隊

・動かなければという話はあるが、学校がはじまったばかりで夏休みも短い中でこれからどうやっていくのかを考えていく。過去に実施した学校へは優先的に案内する。

サイバー

・京都府警は乗り気なので、時期を見て開催する。

(阪神)

防災・減災

・昨年 防災士の資格を取り県主催での活動をリーダーとして行ってきた。資格を取ることで自身の意識も変わるのでお勧めです。

ぼうさい探検隊

・既に新規3件受付してはいるが、学校関係は難しく、子供会とかNPO法人で先週活動してきた。タブレットを活用することで一日で完了することができたが、事前準備も必要なので下見も行った。

BCP

・自身でも策定しており、日本代協から提供されているマニュアルを読んでも参考になると思う。

サイバー

・予定していたが延期となってしまった。理事会・協議会では積極的に推進を伝えている。

(東中国)

ぼうさい探検隊

・島根は昨年依頼していた校長からコロナの影響で実施できないと連絡があった。また、校長会が開催されていないので案内もできていないが、昨年度実施した団体には声掛けしていく。

(昨年実施した団体に損保協会から直接、継続実施の依頼が来たとのクレームあり)

・岡山は CSR 委員が新任であり昨年度日本代協賞を受賞したチームの代表に進め方をレクチャーしてもらう予定。今年度は家族単位で動いていく予定。

サイバー

・岡山では全体でのセミナーを予定。

BCP

・BCP 策定ツールはためになっている。

独自活動

・島根は宍道湖清掃、鳥取は車椅子寄贈、岡山は8月献血・秋ごろクリーン活動を予定。

(西中国)

ぼうさい探検隊

・広島は子供会等の組織的活動ではなく、従業員・保険会社社員の家族向けに地道に勧めていく。

(夏休みのスケジュールしただが、実施できると思う)

・山口では岩国小学校で今まで実施していたが、先生の転勤等もあり個人的取組みとなっている。

防災・減災

・一昨年の呉での土砂災害以降、地域自治体で防災・減災に取り組んでいこうという動きがあり地元の CSR 委員も参加して取り組んでいる。

サイバー

・広島県警にてセミナー実施してもらい内容充実していたので各支部でも開催できたらと思う。

(四国)

ぼうさい探検隊

・南海トラフの影響が強い地域なので意識は高く協力してくれる団体はあるが、やはり小規模での実施となりそう。

サイバー

・徳島と愛媛が6月に開催予定だったが延期となっている。県警本部と調整し実施する予定。

BCP

・7/17 ブロック協議会で BCP セミナー等徹底する。

(九州北)

ぼうさい探検隊

・コロナの影響で計画できていないが、それぞれ過去実績の団体、小学校、子どもクラブへ案内している
出前講座

・昨年は実施できなかったが、大分に委員が集まり資料作成や対策を討議してきたので今年度は実施したい。

BCP

・大分では特別委員会を設置し推進していく。

サイバー

・各県警と連携しどのように開催するかを討議していく。

(九州南)

ぼうさい探検隊

・4 県とも案内は出しているが学校によっては対応がまちまちである。

防災・減災

・ブロック会議で共有し、どのように進めていくか話し合いたい。

サイバー

・宮崎ではコロナの影響で中止となってしまったが、順次推進していく。

三浦副委員長より

・コロナの影響で活動できていない状況ではありますが、オンライン、WEB 等を活用してコミュニケーションをとってください。

野元専務(事務局)より以下補足があった

・日本代協では代協会員向け BCP セミナーを再開しています、7月1日以降企画が有れば声掛けてください。

・CSR 委員会の 4 つの諮問事項は、これまでの取組みを継続することを前提に推進してください。

・「防災・減災」については、CSR 活動ではないが、商品販売でお客様に価値提供していくのが難しい環境になる中で、事前の安心と事後の安心をどう提供していけるのか代理店にとって大きな課題となります。本業に関連した安心安全をお届けするのは、この防災・減災に関するアドバイス・活動が極めて重要だと捉えご自身でできることを考えて下さい。具体的にはハザードマップを全てのお客様に提供するところがスタート

ではないかと思えます。

- ・「BCP」については皆様はいざとなった時に一番最初に稼働しなければならない業種です。ご自身のBCPが第一で、それを前提にお客様に提供するものであり、規模・特性により考えて下さい。中小企業庁等でマニュアルが出されてはいるが、従業員30人前後の企業を対象としているので、日本代協のマニュアルは10名以下を対象に作成しております。
- ・「サイバー」については、最終的にサイバー保険の販売につなげなければならないが、代協会員の皆さまがそれぞれサイバーセキュリティを確保してください。損保クラウドも提供されているのでこれらを取りこんでください。
- ・今後はBCP、サイバーセキュリティ対策がとられていないと代理店の存続にもかかわってくる問題なので以上を認識した上で取組み推進してください。

・その他・閉会

1. 情報提供

野元専務より

- ・関東財務局ヒアリング結果が6月19日公表されてますが、非常に整理されてますので是非一度確認し代理店経営の参考にしてください。ポイントは、顧客本位の業務運営の原則と継続的な体制整備の改善であり、求められているのは実行性です。今後の指針になると思われます。
- ・自然災害が多発し、保険金支払が一兆円超となっております。特に昨年度は異常危険準備金が東京海上日動を除いては底をついており、自然災害の多発は大きなリスクとなっております。今年度も保険料改訂されますが、今後火災保険は値上がりし続け消費者問題になりかねません。今後代理店として、留意しないといけない点は特定修理業者を抑え込んでいかなければならない点と個人分野家計火災保険の基準手数料が引き下げられる動きにあるという点です。

2. 横山副会長挨拶

- ・お疲れさまでした。午前中から参加の方々は特にお疲れだったと思えます。
- ・新たな体制でのCSR委員会がスタートしたばかりですが、皆様と一緒に知恵と汗を絞って活動をより広く実りのあるものとしていきたいのでよろしく願いいたします。
- ・通常総会に向けての金子会長メッセージにも、「大規模災害、新型コロナウイルス感染防止と代理店BCPについて、防災・減災の取組みを行っていくことも重要でありCSR委員会を中心に具体的な活動と情報提供を行っていく」とありますので我々の役目は非常に重要であることを認識してください。
- ・CSR委員会は地球環境の保護をテーマに活動することを目的に22年前に研究会として立ち上がり、10年前にCSR委員会として社会貢献活動を軸に防災・減災・防犯などの各種啓発事業を展開してきました。
- ・直近2年間は大きな地震、梅雨から秋にかけての台風と豪雨に何度も見舞われ、全国各地でも大きな被害が発生しております。そのような中、保険に入っていてよかったというお客様の声は、まさに災害時に我々の仲間が奔走して対応したことへの最大の賛辞だと思っています。保険のプロだからできること、なすべきこと、それが万が一の時のために備えることを多くの人に伝えていくことだと思っています。
- ・ここにお集まりの皆さまは、各都道府県、ブロックを代表して出席されているので、ご自身の代協においては支部におけるCSR活動や委員会の取組み促進にかなり心血を注いでこられたと思います。とはいえ、一人のパワーや努力では限界があります。「一人の百歩より百人の一步」と常々申し上げておりますが、皆さんが揃って進む一步の大切さを肝に銘じていただき、この委員会に携わっていただきたい。
- ・オリエンテーションで、委員長より新任の委員の方に伝えたいことを話してますが、その中で特に感じたことは「皆様はブロック全体の状況に関心・関与する心構えでいて下さい」ということ「代協・組織運営に必要なことは事務局の充実と支部の活性化」と触れていたところです。
- ・廣瀬委員長の下精励が集まるこのCSR委員会を更に活性化していただき、日本代協の存在感をますます大きなものにしていきましょう。

以上

次回開催日 2020年9月25日(金) 13:30 ~ 17:00